

平成27年度 第3回 和泉総合高校 学校協議会 記録

日時 平成28年2月6日(土) 9:30~11:30

場所 本校 応接室

出席者 委員 (敬称略)

古川 恵美 (会長) 福喜多 弘 一井 正次 竹田 竜彦 松尾 浩子 花田 志津江

学校・事務局

校長 教頭 (2名) 首席(2名 1名進路指導部長兼務) 生徒指導部長

1. 開会挨拶 (校長)

2. 学校報告

①生徒の状況の改善

出席状況については依然として遅刻や欠席が多いが、昨年同時期より欠席が22%遅刻は12%減少している。学年では1年が一番多く、学年進行によって改善していく。生徒指導では指導注意の累積で懲戒となる生徒が増加したが、喫煙や暴力などの事案は減少した。携帯情報機器の使用マナー徹底についてもかなり改善がみられる。長期欠席の生徒数はあまり変わらない。

来年度は学習態度の改善につながるように指導を継続していきたい。

②進路指導

就職希望は全体の69.7%で、男子の66.3%、女子の74.5%にあたる。そのうちの2/3が学校紹介を希望している。就職の受験状況は、1次試験(9月)で41名が合格し合格率は66.1%であった。特に女子が苦戦していた。その後2回目を受験するものや新たに学校紹介就職に希望が変わったものも含めて、現在60名の内定をいただいている。

就職として一番多いのは、男子は機械や金属の製造業、女子は介護や販売で、その約8割が大阪南部(堺市以南)である。

③学校教育自己診断

1月に実施した自己診断アンケート(生徒・保護者・教職員対象)の集計と4年間の推移がでた。細かなところは出ていないが、全般的に昨年より改善している。生徒の満足度や授業の理解度について生徒の数値が改善されている。はつが野祭り参加やお掃除ボランティアがかなり浸透しているように、地域と係る活動についての認識が生徒でかなり向上している。

「いじめは見られない」に対して生徒の7割が肯定に対し、教職員の半数以上が否定であるのは教員がしっかりとみているからであろう。部活動については保護者・教職員とも数値は改善しているが依然として低い状態である。

④学校経営計画及び学校評価について

今年度の学校経営のポイントとしてあげた点について、

・中退防止の取り組み・・現時点では昨年より少し改善されたと思うが、進級が決まる年度末で増加しないよう指導していく。

・基礎学力を備えさせる・・生徒の授業に対する意識が向上しているなので、来年は授業が重要な改善ポイントになる。

・生活習慣の確立する・・生徒の状況で報告したように、遅刻などに改善が見られた。

・1年からの進路指導・・非常に丁寧は進路指導、特に面接対策は、進路指導部だけではなく担任独自に練習を重ねている。志望動機をうまくまとめられない生徒もいるが2次等で生徒・教職員ともに頑張っていた。今年は夏のインターンシップの参加が不調であった。

・教員によるAED講習・・和泉消防署と連携しAED講習を行い、有資格の本校教諭2名も講師を務めた。生徒の安全管理・健康管理では、健康診断を受けた検診率は向上したが、現状では歯科の治療などに十分に結び付いてない。スクールカウンセラーの活用が進んでいる。生徒自身より担任の紹介による相談の事例が多い。

・体育館やトイレの改修実施・・体育館の改修ではPTAの協力を得て照明も非常に改善された。トイレの改修も進んでいる。

5. 協議 進行＝古川会長

委員 生徒状況の欠席が多いが欠席の理由は？

事務局 欠席の理由別に集計していない（区別が難しい）が、長欠や怠学も少なくない。

委員 進路の内訳のうち、公共施設とは？

事務局 近畿職業能力開発大学校や大阪府立の高等職業技術専門学校などである。

委員 学校への満足度が、学年でどのように変化するか？

事務局 その集計は間に合わなかった。来年度は事前に用意するようにする。

委員 改善が顕著に見えている。一年で6クラスを9クラスに展開するのは負担がかなり増えるのに大変なことだ。頑張ってもらいたい。

事務局 1年で転退学があるが、2年で数件、3年はゼロである。

委員 自己診断アンケート、教職員と保護者の回収率が低い。学校に関心がある保護者しか出していないのでは。

委員	生徒指導や進級について、入学時に学校の指導方針をしっかりと示せば、それでいいのでは。
事務局	10月や12月の懇談時に進級についてはしっかりと連絡している。しかし、3学期に大きく変わる場合、十分な対応ができない。
委員	10月の連絡では進級について、保護者が十分に実感を持ってないのだろう。PTA でできることがあれば・・・
委員	遅刻や欠席が多いのは？欠席で進級に影響は？
事務局	最低の時間数の出席は必要。遅刻については授業が抜け大きな影響。
委員	家が近いので遅刻する生徒をよく見るが社会に出て厳しい。
委員	個々の生徒を見たら昨年までの欠席が遅刻に変わったのでは。少人数クラスを編成する努力は大変であるが継続してほしい。また就職の可否での面接は大きな比重を占めているので、これも継続して頑張してほしい。
事務局	面接については、進路指導部・担任だけではなく、外部指導者を招いても行っている。
会長	遅刻数に比べて暴力事件が少なく就職率がよい。生徒指導・進路指導で丁寧な指導を進めているのを実感する。全体的な努力を感じている。
6. 校長 挨拶	ご意見ありがとうございます。本校には全体で取り組む姿勢がある。それを評価していただけただけ。来年は資料を改善して臨みたい。